

接続詞の練習 すると、そこで、そして (manabu)

- 1 田中君が、あるイベントで、日本語の通訳をやることになっていたが、事故にあつて、できなくなって、代わりの人を探していた。()私が「やってもいいよ」と言った。
- 2 昨日、久しぶりに友達に会った。()たくさんおしゃべりをした。
- 3 昨日、久しぶりに友達に会った。()二人の子供のお母さんになっていた。

終助詞の「か」 (mitsukeru)

- 1 どちらの方向かはっきりしなかった
- 2 道にまよわないかと心配でした
- 3 「これがそうか」と思ってうれしかった

練習問題 (tatoeru) 助詞の機能

- ・ 広くはない
- ・ 何十万円もする

A と B と、どこが違うか考えましょう (taberu)

1 A「温める」と B「暖める」

- 部屋を()
- ご飯を()
- お風呂に入って体を()
- 太陽の光が大地を()
- 旧交を()

2 A「景色」と B「風景」 (テキストの例)

・これまで同じ道を通っていながら、地下鉄に乗っていましたから、こんな景色を
知りませんでした。(花の名前)

・時代が変われば、いろいろなことも変化するが、食事の風景もその一つだ。(ごち
そう)

— この部屋から見える景色がとてもいい

— 山村の風景

— 都会の朝の風景

— サッカーの練習の風景

動詞の形の確認

意向形：変わろう(変わる)、食べさせてやろう(食べさせてやる)

食事をする、帰る、温める、急ぐ、おなかをすかせる、囲む、選ぶ、すませてしま
う

練習問題 (akireru)

次の表現を読みなさい。

1 3、4 人

2 1、2 人

3 5、6 人

4 7、8 人

練習問題 (tsutaeru)

形の練習

1 自動詞、他動詞

伝える（自か他）→

なる（自か他）→

残す (自か他) →

乗る (自か他) →

間違ふ (自か他) →

敬語 (例：お間違いないでください) ていねいな禁止文

乗る()、食べる()、伝え
る()、残す()

「気」を使った表現

- 1 これは私が一番気（ ）バグです。
- 2 映画に行こうと言われたが、あまり気（ ）なかった。
- 3 会議の後で友達と約束があるので、会議の終わる時間が気（ ）。
- 4 道を渡るときは、車に気（ ）ましょう。

語彙の練習 (omoikomu)

一番上の息子＝長男

二番目の息子＝

三番目の息子＝

一番上の娘＝

二番目の娘＝

三番目の娘＝

一番下の子供＝

練習問題 (mamoru)

次の言葉の中から適当なものを選びなさい。

～として、～に対して、～にとって、～によって

- 1 人は、相手の肩書（ ）影響をうける。
- 2 年寄り（ ）暑いおふろは体に良くない。

- 3 この草は、薬（ ）利用されている。
- 4 この問題（ ）、私に何ができるか考えたい。

次の言葉の中から適当なものを選びなさい。

めったに、たまに、だいたい

わたしは、目覚まし時計を使わなくても、（ ）6時に目がさめる。疲れている時は、（ ）もう一度眠ってしまうこともあるが、それでも、学校に遅れることは（ ）ない。